

21.9.12 KT師の重賞本命と見解

セントウル S

去年に続いて中京芝 1200m で施行。

去年は 1 着ダノンスマッシュ、12 番人気 2 着メイショウグロツケ。
どちらも父が欧州型。8 番人気 4 着タイセイアベニールも父欧州型。

人気薄で好走したメイショウグロツケとタイセイアベニールは
どちらも父が欧州型ノーザンダンサー系。2-4 着は父ノーザンダンサー系(大系統)。

1-3 着馬は全て距離短縮馬。前走で 1600m を使っていた馬。

本命はタイセイビジョン

父は欧州型ノーザンダンサー系。

母系にもサドラーズウェルズの影響強いエルコンドルパサーを持つ欧州指向強い血統。

前走は超高速馬場の距離短縮にも戸惑いました。巻き返しが見込めます。

レシステンシアは母父がノーザンダンサー系で短距離適性高いダンチヒ系。距離短縮。

ラウダシオンは距離短縮。左回りの内枠得意。軽い馬場も合います。

ジャンダルムは父ノーザンダンサー系。母母父もダンチヒ系。

京成杯 AH

馬場がまったく異なる昨年、一昨年の同レースを優勝した
トロワゼトワルはロードカナロア産駒。

土曜の中山芝競馬もキングマンボ系と
サンデー系の配合馬が複数勝ち、人気薄も複数馬券に。

本命はグランデマーレ。

キングマンボ系のロードカナロア産駒。

母父がサンデー系。母系に芝のスピード勝負に強いクロフネ。

土曜の中山芝もクロフネを母系に持つ馬が人気薄で複数馬券に。

グレナディアガーズは高速決着のマイルに強いフランケル産駒。

母もファピアノ、ヴァイスリージェント系持ち。今の馬場も合います。

相手もキングマンボ系のカラテ、カレンシュトラウス、ステルヴィオ。